

どさんこ子育て特典制度をご利用ください！

町では、北海道と協同して「どさんこ・子育て特典制度」を実施しています。
この制度は、妊婦の方や小学生以下のお子さんがある世帯に「特典カード」(右図)を配付し、買い物や施設などの利用の際に、特典カードを提示すると協賛店舗からさまざまなサービスを受けられるというものです。
全道地域協賛店には、テーマパークやキャンプ場などがあります。一覧は役場福祉子ども課にお問い合わせいただくか、北海道のホームページ(<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/ikuji/dosanko.html>)をご覧ください。



町内の観光施設も協賛しています。ご家族で町内観光を楽しみながら特典サービスを受けてみませんか。

- ▶町内の協賛施設(全道地域・特典カード提示で特典が受けられます)
- 摩周湖レストハウス／買い物をされた方に絵はがきプレゼント
 - 硫黄山レストハウス／買い物をされた方に絵はがきプレゼント
 - 900草原レストハウス／レストランで食事をされた方に牛乳1杯プレゼント
 - 温泉民宿「北の大地」／日帰り入浴・宿泊料金割引
 - 温泉浪漫の宿「湯の閣」池田屋／日帰り入浴料金割引
 - サッポロドラッグストアー／対象商品を5%割引

※特典制度は、妊婦の方、0歳～小学6年生のお子さんがあるご家庭が対象となります。
※転入・出産などで特典カードがお手元にない方には、役場福祉子ども課で配布しています。

協賛店を募集しています！

子育て世帯に独自のサービスを提供することで、子育てを地域全体で応援する「どさんこ・子育て特典制度」。
町内の妊婦の方や子育て中の家庭への特典サービスが充実されるよう、制度の趣旨に賛同し、協賛していただける店舗などを募集します。

- ▶対象店舗
- 町内地域／町内の子育て中の家庭が買い物や食事などで利用できる店舗など。(小売店、一般飲食店、クリーニング店、理美容室、浴場業など)
 - 全道地域／全道の子育て中の家庭が利用できる宿泊施設や体験施設など。(温泉、ホテル、キャンプ場、テーマパーク、体験施設など)
- ▶特典内容／店舗などが独自に提供する内容を決めます。(料金の割引、子どもへのソフトドリンクや菓子・粗品の提供など)
- ▶応募方法／町内地域へ協賛される方は、申込書を福祉子ども課へ提出してください。全道地域へ協賛される方は、北海道の担当課への申し込みとなります。町内地域・全道地域の申込用紙は福祉子ども課児童福祉係にあります。
- ▶その他／協賛していただける店舗などには、協賛ステッカー「子育て応援の店」(上図)を後日、配布します。



問い合わせ先／役場福祉子ども課児童福祉係 ☎ 4 8 2 - 2 9 2 1 (課直通)

暴風雪事故などに備えましょう

防災ワンポイントコーナー

本町は昨年2月から3月にかけて、8回もの暴風雪に見舞われました。また今年は、11月初旬にもかかわらず、まとまった降雪。7月・8月には、台風7号、11号、9号、10号が立て続けに襲来して甚大な被害をもたらしました。これまでは考えられない時期に、さまざまな自然災害が発生する可能性を否定することができません。
いよいよ本格的な冬が始まります。暴風雪や大雪への対策を紹介いたしますので、心にとめて冬を迎えましょう。

▶家の中で安全に過ごすために

- 気象情報に注意して、暴風雪が予想されるときは外出を避けましょう。
- 日頃から停電に備えて、懐中電灯・携帯ラジオ・防寒具・ポータブルストーブ・灯油・飲料水・非常食(ビスケット・乾パン・ようかんなど)などを準備しておきましょう。
- FF式暖房器などを使用している場合は、一酸化炭素中毒防止のため、給排気口付近が雪でふさがれないよう、こまめな除雪を心がけましょう。

▶車で外出するときに気をつけること

- 万が一に備えて、携帯電話を忘れずに。できれば、車用または電池式の充電器を持ちましょう。
- 車が立ち往生する可能性があるため、防寒着・長靴・防寒ゴム手袋・スコップ・スノーヘルパー(脱出板)・けん引ロープなどを車に積んでおきましょう。燃料は常に半分以上あるようにしましょう。遠出の際は、飲料水や非常食(ビスケット・乾パン・ようかんなど)も積んでおくとう安心です。
- 運転中に地吹雪などにより危険を感じたら、無理をせずに道の駅やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましょう。
- 大雪や吹きだまりなどで車が立ち往生したときは、JAFなどのロードサービスに救助を依頼してください。やむを得ないときは、警察や消防、近くの方などに連絡してください。また、前照灯(ヘッドライト)とハザードランプを点灯させるなど、車が目立つようにしてください。
- 車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると、排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。防寒のために、やむを得ずエンジンをかけるときは、こまめに窓を開けて換気するとともに、マフラーの周りを除雪してください。

▶知っておくと便利なもの

- JAFロードサービス救援コール／☎ 0 5 7 0 - 0 0 - 8 1 3 9 ・# 8 1 3 9 (短縮ダイヤル)
- 気象・道路防災情報(インターネット・スマートフォン)の検索先
★気象庁 ★日本気象協会 ★北海道地区道路情報 ★北の道ナビ ★北海道防災情報

問い合わせ先／役場総務課防災係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)



介護保険説明会&地区懇談会を開催しています



錫別自治会(上)と錫別温泉桜町自治会(右)での説明会・懇談会の様子

町では、来々4月の介護保険制度改正に向けた説明会を、3自治会2老人クラブで実施しました。合わせて、今年の6月に65歳以上の方に「ご協力いただいた」からしのためのアンケートの結果をお知らせしました。
各自治会・老人クラブの意見を紹介します。

①川湯敷島自治会
アンケート結果とは異なり、実生活ではそれほど困っている方がいないと感じている。
近所の方の電気がついていないかぐらゐの見守りをしていゐる。

②錫別温泉桜町自治会・桜町悠々クラブ
昔ながらの行事で当たり前のようゐ地域の方が集まゐっている。
老人クラブは毎月集まゐり、花壇整備や清掃を行ゐっている。
●移送サービスなど福祉サービスのこゝが詳しく分らない。
●入浴に関する困りごゝが少ないのは、地区の高齢化がひと山越ゐたからだと思ゐる。

③錫別自治会・錫別福寿会
「除雪で困っている人の割合」が、錫別は全町に比べて低い。国道近くに住む人は除雪が早くされるので確かに困っていないが、国道から少し入ると大変。
町として、定額の見守りつき住まいや墓地の運営管理が必要ではないか。

皆さんの意見は、弟子屈町社会福祉協議会やボランティア協議会が参加する話し合ゐの中で共有され、今後の地域づくりの基礎となります。
これからも、人が集まゐる機会があればどこへでもお伺ゐし、説明を行ゐ、意見をお伺ゐします。興味を持たれた自治会や老人クラブの方は、ぜひ声をかけてください。もちろん、それ以外の団体やサークルなども大歓迎です。
説明会を行ゐた各地区のアンケート結果は町公式ウェブサイトで、地域包括支援センターのページに掲載されていゐますので、ぜひご覧ください。
□問い合わせ先／役場健康推進課地域包括支援係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 5 (課直通)まで。